

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成20年11月22日

事業所番号	2775004332	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 ほほえみ	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム ほほえみの郷	評価調査日	平成 20 年 11 月 14 日
所在地	東大阪市上四条町11番28号 電話 072-980-7060	評価確定日	平成 20 年 11 月 26 日

【情報提供票より】(平成20年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年9月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	16人常勤 14人 非常勤 2人 常勤換算 13,6人

(2) 建物概要

建物の構造	重量鉄骨造り 3階建ての(2階～3階部分)
-------	--------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	22,500円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	252,000円	償却	有 3年	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり 45,000円			

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 80才	最低	67才	最高	88才

(5) 協力医療機関


協力医療機関名	若草第一病院・浅川クリニック くまざき歯科・東大阪市立 東診療所
---------	-------------------------------------


【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

利用者との会話が活発に行われて明るい感じのホームである。運営者は管理者の成長を期待し、管理者はそれに応じて自由な発想で温かな気付き介護を進めている。職員は開設以来5年目の勤続者が10名(総員16名、内・男5名)で、日常の介護は安定している。所在地が少し山手にある関係で、来訪者は車の利用が主となるが、大阪平野の広大な風景が楽しめる

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議は、地元自治会の老人会組織の方々からの全面的な支援を頂いて開催しているが、近隣の方々との交流は、今後の取り組みとなっている。ご家族への連絡は、来訪時以外に請求書に手紙を同封して近況を伝えている。又、重度化の看取りについても現実の課題となっているが、職員への情報交流と併せて、体制は出来ている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	年々介護レベルは安定し向上している、前年度の評価を事務室に掲示し、職員はそれを参照しながら介護に当たっている。今回も現状の検討や、反省点、改善策について話し合いを実施して、自己評価表の記入が行われた
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4. 5. 6)
	運営推進会議については、地元の老人会の方々から多大の支援を頂いて開催している。検討内容は、ホーム側からの連絡・報告と、出席者との情報交換ですが、会議の今後についてホームとしては、出席者が老人会の関係者が主となっているので、包括支援センター、又は市のご担当者による、地区組織への更なる呼び掛けを含むご指導を期待している
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7. 8)
	ご家族はホームの介護については満足して頂いており、運営者も職員の更なる管理能力アップのための外部研修も含めて、力を入れている。今のところ運営推進会議や、アンケート等による苦情は出ていないが、日頃の来訪時での会話を重視し、ご希望には直ぐに対応している
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議により、近隣の老人会との情報交換は出来ていて、双方の行事への参加が行われているが、地域の方々との交流には、更に努力が必要とされます。これには地味な年月を掛けた努力が必要ですから、朝夕や散歩時のご挨拶、その他の方法を職員一同とも話し合っ、課題として欲しい

（ 部分は重点項目です）

 **取り組みを期待したい項目**

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「いつまでも ほほえみ浮かべて暮らしたい」の理念を、運営者をはじめ職員一同は介護の基本としている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の毎日の介護は、理念に基づく行動とするよう指導している		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営推進会議により、地域の老人会の方々との交流が進められている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎回、評価結果表を掲げて職員の意識に働きかけ、反省と改善に取り組んでいる		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	原則的に運営推進会議は開催されている。特に地域の老人会の方々のご支援を頂いて、情報交流、行事等への参加が行われている	○	運営推進会議開催について、地域包括センター、市のご担当者の支援を期待したい
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のご担当者の指導は厳しく実施されているが、同業者との連携関係については、余り無いので、取り組んで欲しいとの要望があります		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族来訪時には近況報告をしている。又、毎月の請求書には個人毎に近況報告の文書を同封している		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来訪時には、ご意見を伺っている、更に、運営推進会議でのご意見も含めて、改善点があれば直ちに対処している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	同業者との交流は、ケアレベルの向上に役立つことになるので、市のご担当者とも相談して、取り組んで欲しい

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		入居予定者が早くホームでの生活に馴れて頂けるよう、以前の生活を出来るだけ把握するため、ご家族、本人から聞き取りも含めて情報記録をとり、職員の共通情報として介護に利用している。ご本人にはショート・ステイが出来る体制を準備している
--	----	----	---	--	---

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		職員は利用者の担当制として、ご家族も含めて、早くご本人の情報を知るよう努めている
--	----	----	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		入居前からの情報と共に、入居後は職員とのカンファレンスで情報交換を行い、介護に生かしている
--	----	----	--	--	---

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		ご家族とは来訪時に近況報告から、ご意見を伺っている。また職員とのカンファレンスで、より良い介護に繋げるよう努めている
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	月毎のカンファレンス以外でも、利用者に変化があれば本人、ご家族、医師、関係者を含めて話し合い、新しい計画を作成している		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に応じて、事業所の機能を活かせる範囲の支援を行っている		
----	----	---	-------------------------------	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	ご本人の症状に応じて、その都度支援を行っている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化時の対応のホーム方針は定められている。又、本人、ご家族とも話し合っている	○	ご家族の居ない孤独な方々の終末時の方針は、ホームだけでは難しい問題でしょうから、市のご担当者とも連携し継続して検討して欲しい

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	言葉かけや、情報保護については、職員に注意を喚起している。特に、記録類の保管は配慮している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ本人の希望に沿えるよう支援している		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週一回程度は希望に応じたメニューを用意している、食事の準備や片付けについては、出来る方に手伝って頂いている		
----	----	---	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		
	25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している		

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		
	27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		
--	----	----	--	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
	30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		